

## 決議文（案）

### 大飯原発再稼働の策動を糾弾し、原発全廃を求める！

福島原発事故から 7 年が過ぎましたが、この事故は、原発が重大事故を起こせば、人の命と尊厳を奪い、職場を奪い、農地を奪い、海を奪い、生活基盤を奪い去ることを、大きな犠牲の上に教えました。

一方、福島事故以降の経験によって、原発は無くても何の支障もないことが実証されました。そのため、今、脱原発、反原発は圧倒的な民意となっています。

それでも、関西電力や政府は、原子力規制委員長までもが「安全を保証するものではない」と言う“新規制基準”に適合したことを拠り所にして、高浜原発 3、4 号機、大飯原発 3 号機を再稼働させ、来月にも大飯原発 4 号機を再稼働させようとしています。脱原発、反原発の民意を蹂躪（じゅうりん）し、彼らの利己的利益のために、人の命と尊厳をないがしろにするものです。また、脱原発に向かう、世界の潮流に逆らうものです。

原発重大事故によって放出された放射性物質は極めて広範囲に広がります。福島事故でも、約 50 km 離れた飯舘村も全村避難になり、約 200 km 離れた関東にも高濃度の放射性物質が降下しました。避難計画や原発稼働への同意などでは、30 km 圏内が対象とされますが、被害は 30 km をはるかに超えて広域におよびます。

若狭の原発が重大事故を起こせば、若狭はもとより、関西、中部も高濃度放射性物質で汚染される可能性があります。京都駅、大津駅は大飯原発、高浜原発から 60 数 km、大阪駅は 80 数 km の位置にあります。250 万人が住む京都府、150 万人が住む滋賀県のほぼ全域、大阪府や兵庫県の多くの部分が 100 km 圏内にあり、この全域からの避難が不可能であることは自明です。琵琶湖の汚染は、関西 1,450 万人の飲用水を奪います。原発からの汚染水は日本海にたれ流されますが、日本海は太平洋に比べて比較にならないほど狭い閉鎖海域ですから、高濃度に汚染されます。

私たちは、重大事故を起こせば極めて広範な地域の住民に塗炭（とたん）の苦しみを与え、使用済み核燃料や核廃棄物などの人類の手におえない負の遺産を子々孫々にまで残す原発の再稼働を座視することはできません。

本集会の参加者一同は、電力会社や政府を震え上がらせるような反原発運動を高揚させ、「脱原発、反原発の民意を無視したら大変なことになる」ことを電力会社や政府に思い知らせ、あらゆる手段を駆使して、原発の再稼働を阻止し、原発全廃を勝ち取ることを決議します。

2018 年 4 月 22 日

4.22 大飯原発うごかすな！ 関電包囲全国集会 参加者一同